

授業科目名	医療知識Ⅱ		科目コード	203008	
開講クラス	医療事務科	コース	基礎コース	学 年	1 年
担当教員	西岡 明子		実務経験教員 ( <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無 )		
	実務経験内容 病院に6年間勤務し、主に看護業務に従事 実務経験を活かし、解剖学・生理学など医学の基礎知識を理解させる授業を行う				
開講時期	<input checked="" type="checkbox"/> 前期 ・ 後期 ・ 通年 ・ 特別講義 ・ その他		授業コマ数	30時間	
	<input checked="" type="checkbox"/> 必須 ・ 選 択 ・ 選択必修		単 位 数	1 単位	
使 用 テキスト 1	書 名	医療秘書医学シリーズ 基礎医学			
	著 者	小泉 憲司・矢澤 華子 共著			
	出版社	建帛社			
使 用 テキスト 2	書 名	ぜんぶわかる 人体解剖図			
	著 者	坂井 建雄・橋本 尚詞			
	出版社	成美堂出版			
参考図書	公費負担医療の実際				
授業形態	<input checked="" type="checkbox"/> 講義 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 演習 ・ 実習				
<授業の目的・目標> ・医療事務者として一定の医学的専門知識と、その知識を活かした保険請求能力を身に付けることを目的とする。 ・医療秘書検定試験3級合格を目標とする。					
<授業の概要・授業方針> ・医療事務者として保険請求の際にカルテを読み解き、内容を理解することは重要であるため、医療現場での話など身近な話題、経験談も導入し授業を行う。 ・解剖生理を学ぶことで、身体の構造や疾患について正しく理解できるようになる。 ・医療秘書検定試験3級の過去問題を解き、解答解説を行い、正答率の低かった分野を中心に見直しを行う。					
<成績基準・評価基準> ・成績基準 優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：59点以下 ・評価基準 ①小テスト、授業態度、提出物：20% ②期末試験：80%					
<使用問題集・注意事項> ・医療秘書検定試験3級 過去問題集					
<授業時間外に必要な学修内容、関連科目、他> ・関連科目 「医療事務」、「医師事務作業補助」					

授業科目名		医療知識Ⅱ	
回	授業内容		備考
1	医療秘書検定試験	過去問際⑧ 解答・解説	
2	腎臓、肝臓		
3	医療秘書検定試験	過去問際⑨ 解答・解説	
4	筋骨格系		
5	医療秘書検定試験	過去問際⑩ 解答・解説	
6	医療略語		
7	医療秘書検定試験	過去問際⑪ 解答・解説	
8	腎・尿器系		
9	医療秘書検定試験	過去問際⑫ 解答・解説	
10	染色体異常		
11	医療秘書検定試験	過去問際⑬ 解答・解説	
12	脊椎、骨髄		
13	医療秘書検定試験	過去問際⑭ 解答・解説	
14	細菌		
15	医療秘書検定試験	過去問際⑮ 解答・解説	
16	糖尿病		
17	医療秘書検定試験	過去問際⑯ 解答・解説	
18	神経伝達物質		
19	医療秘書検定試験	過去問際⑰ 解答・解説	
20	眼・視神経		
21	医療秘書検定試験	過去問際⑱ 解答・解説	
22	血液系		
23	医療秘書検定試験	過去問際⑲ 解答・解説	
24	心臓		
25	医療秘書検定試験	過去問際⑳ 解答・解説	
26	ホルモンまとめ		
27	まとめ①		
28	まとめ②		
29	まとめ③		
30	まとめ④		